

2023 年度（令和 5 年度） 健康栄養学部イベント企画

「エシカル消費を考える」

報 告 書

東海学園大学 健康栄養学部

目次

1. イベント要旨	1
2. 全体テーマ	1
3. 目的	1
4. 実施スケジュール	2
5. 実施内容	2
6. 実施状況	5
7. 総括	5
8. 謝辞	6

【資料】

資料1：企画1 地産地消――地域に配慮したエシカル消費のために、地元の食べ物をもっと知ろう――	7
資料2：企画2 エシカル消費を知る――エシカル消費の浸透を目指して――	9
資料3：企画3 官学合同イベント 東海学園大学健康栄養学部 学部行事 東海農政局-東海学園大学 包括連携協定締結1周年記念 東海農政局-東海学園大学健康栄養学部 合同イベント	15
資料4：オープンキャンパス	18
資料5：令和5年度名古屋市消費生活フェア なごやエシカルフェア☆2023	19
学部イベント一覧	20

1. イベント要旨

2023 年度（令和 5 年度）の健康栄養学部の学部イベントは学部行事における東海農政局との官学合同イベントと連動して企画・運営した。

学部イベントの全体テーマを「エシカル消費を考える」とし、1 年生が基礎演習 I、2 年生が栄養科学演習 I の授業時間を利用して、全体テーマと学年別のテーマに沿って調べ学習と制作を行った。制作したのは「ポスター」、「小冊子」、「すごろく」である。東海農政局と本学との間での包括連携協定締結 1 周年を記念した官学合同イベントでは、作成物を用いたポスターセッション、学生による小冊子のプレゼンテーション、すごろくの実演、同局職員と本学部生によるグループワークを実施した。さらに、本学オープンキャンパス、名古屋市消費生活フェア なごやエシカルフェア☆2023 の場にて報告や展示を行なった。

2. 全体テーマ

エシカル消費を考える

3. 目的

エシカル（倫理的・道徳的）消費とは、人や社会・地域・環境に配慮したり、消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そのような課題に取り組む事業者を応援したりしながら行う消費行動である。エシカル消費は 2015 年 9 月に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の 17 のゴールのうち、ゴール 12（つくる責任 つかう責任：持続可能な生産消費形態を確保する）に特に関連する取り組みである。配慮の対象は商品に関わっている労働者の生活改善や被災社会の復興、地域の振興、地球環境の保全など多岐にわたるが、このような社会的課題を我々一人一人が認識し、日々の買物を通してその課題の解決のために自分には何ができるのかを考えてみることで、これがエシカル消費の第一歩となる。

民間による草の根的な活動であったエシカル消費は近年大きな隆盛を見せている。農林水産省は 2020 年に閣議決定された食料・農業・農村基本計画に「SDGs を契機とした持続可能な取り組みを後押しする施策の展開」を盛り込んでおり、東海農政局はセミナー「東海の未来のために、エシカルな消費を進めてみませんか」の開催（2022 年 12 月）などを通じてエシカル消費を推進している。消費者庁はエシカル消費に関する特設サイトを設けている（<https://www.ethical.caa.go.jp/index.html> 2023 年 2 月 13 日確認）。同庁の消費者教育ポータルサイト（<https://www.kportal.caa.go.jp/teaching-material/> 2023 年 2 月 13 日確認）ではエシカル消費に関する 51 の教材を公開している。さらに、愛知県は特設サイト「エシカル x あいち」（<https://www.pref.aichi.jp/kenmin/ethical/> 2023 年 2 月 13 日確認）を設けてエシカル消費の普及に努めている。このように、エシカル消費は今日の世界における重要な社会的課題の一つとして認識され、本邦でもその社会への浸透が望まれている。

このような現状を踏まえ、2023 年度（令和 5 年度）の健康栄養学部の学部イベントでは、本学

が立地する東海地方を念頭に置いてエシカル消費について調査・考察し、オープンキャンパスや学部行事、名古屋市消費生活フェアなど大学内外の機会を活用して、高校生、大学生、地域住民、市民などへの教育・啓発活動を行ない、エシカル消費推進の一助となることを目的とした。

4. 実施スケジュール

2023年8月6日 東海学園大学オープンキャンパス

同年10月4日 本学学部行事における官学合同イベント

同年11月18日 名古屋市消費生活フェア なごやエシカルフェア☆2023

5. 実施内容

【企画1】エシカル消費のうち、地域への配慮について考える

テーマ：地産地消――地域に配慮したエシカル消費のために、地元の食べ物をもっと知ろう――

担 当：健康栄養学部1年生

対 象：高校生、大学生、保護者、地域住民、一般市民

開催日：2023年8月6日（オープンキャンパス）、同年10月4日（官学合同イベント）、同年11月18日（名古屋市消費生活フェア）

開催場所：東海学園大学 名古屋キャンパス（オープンキャンパス、官学合同イベント）、オアシス21（名古屋市消費生活フェア）

内 容：下記サブテーマに沿って東海三県の代表的な農・水・畜産物とそれらを用いた料理について調べ、地産地消促進のためのポスター7枚を作成した。これらを本学オープンキャンパス（動画もあり）、名古屋市消費生活フェアにて展示し、来訪者を啓発した。また官学合同イベントにおいてポスターセッションを行い、行政職員、学生、教員が意見交換を行った。

サブテーマ

- | | |
|---------------------------------|--------|
| ①エシカル消費の紹介：特にエシカル消費と地産地消との関連の紹介 | （新宮ゼミ） |
| ②愛知県の代表的な郷土料理の紹介 | （徳永ゼミ） |
| ③愛知県の代表的な農・水・畜産物の紹介 | （西田ゼミ） |
| ④三重県の代表的な郷土料理の紹介 | （中出ゼミ） |
| ⑤三重県の代表的な農・水・畜産物の紹介 | （仁科ゼミ） |
| ⑥岐阜県の代表的な郷土料理の紹介 | （宮澤ゼミ） |
| ⑦岐阜県の代表的な農・水・畜産物の紹介 | （平野ゼミ） |

【企画2】エシカル消費を理解する：エシカル消費の浸透を目指して

テーマ：エシカル消費を知る

担 当：健康栄養学部 2 年生

対 象：高校生、大学生、保護者、地域住民、一般市民

開催日：2023 年 8 月 6 日（オープンキャンパス）、同年 10 月 4 日（官学合同イベント）、同年 11 月 18 日（名古屋市消費生活フェア）

開催場所：東海学園大学 名古屋キャンパス（オープンキャンパス、官学合同イベント）、オアシス 21（名古屋市消費生活フェア）

内 容：エシカル消費を学ぶ導入として本学部 2 年生は特別講義を聴講した。講師にエシカル・ペネロープ株式会社 代表取締役 原田さとみ氏をお招きし、「エシカル消費入門」というタイトルで 2023 年 4 月 17 日に実施した。この後に 2 年生は、小冊子ならびにすごろく制作にとりかかった。

- 1) エシカル消費の理解と実践を促進するための小冊子を作成した。小冊子は各ゼミで下記のサブテーマに沿った資料を 2 ページ分作成後に統合して、表紙・裏表紙合わせて合計 16 ページ、A5 判を完成させた。

栄養科学演習 I の合同発表会で各ゼミ代表が担当した部分について発表を行い、小冊子はオープンキャンパス、官学合同イベント、名古屋市消費生活フェアにて展示し、来訪者の教育・啓発活動に用いた。

- 2) エシカル消費の理解と実践を促進するすごろくを作成した。各ゼミが下記のサブテーマに沿って 10 マス前後を作成し、最後に統合して A1 判のすごろくを作成した。なお、すごろくの中にはクイズを入れ、その答えは「1)」の小冊子を読むとわかるように作成した。栄養科学演習 I の合同発表会で、各ゼミ代表が担当部分について発表とすごろく実演を行った。すごろくはオープンキャンパス、官学合同イベント、名古屋市消費生活フェアで展示と実演を行ない、来訪者の教育・啓発活動に用いた。

サブテーマ

- | | |
|---------------------------|--------|
| ①人・社会に配慮したエシカル消費 | （井成ゼミ） |
| ②環境に配慮したエシカル消費 | （寺嶋ゼミ） |
| ③地域に配慮したエシカル消費 | （仁科ゼミ） |
| ④グリーンウォッシング（Greenwashing） | （堀尾ゼミ） |
| ⑤認証ラベル・マーク | （宮澤ゼミ） |

【企画 3】：官学合同イベント（東海農政局-東海学園大学 包括連携協定締結 1 周年記念）

東海学園大学健康栄養学部 令和 5 年度学部行事における東海農政局と本学部の合同イベント
第一部 講演

日時：2023 年 10 月 4 日（水）13 時 30～14 時 30 分

場所：東海学園大学 名古屋キャンパス 311 教室

対象者：健康栄養学部の学生（1 年生 143 名、2 年生 91 名、4 年生（有志）7 名）、
東海農政局職員（11 名）

講演タイトル・講演者

①「最近の農政をめぐる情勢について（エシカル的（？）な取組の紹介）」

東海農政局 企画調整室 室長 井上 俊樹

②「東海学園大学健康栄養学部でのエシカル消費への取り組み」

東海学園大学 新宮 多加志

講演に先立ち、石川清学長より挨拶があった。9 月に本学ともいき教養教育機構主催で行われた「ともいき SDGs シンポジウム 2023」を引き合いに、SDGs やエシカル消費への関心の高まりを歓迎された。

講演内容

- ①初めに現在の農林水産業を取り巻く状況についての説明があった。特に本邦の高齢化・人口減少に伴う国内市場の縮小や農家と農業生産の減少、海外市場の拡大、気候変動による負の影響、イノベーションによる飛躍の可能性、食料自給率の低迷と食料安全保障などが説明された。このような背景を踏まえて、エシカル消費に関連する農林水産省の取組、特にみどりの食糧システム戦略、東海農政局の食品ロス削減、地産地消、伝統継承への取り組みなどが紹介された。また 2023 年は食料・農業・農村基本法の制定 20 年後の検証・見直しの年に当たっており、その最終とりまとめの内容を踏まえて過去 20 年間で大きな課題となってきた食料安全保障、環境に配慮した持続可能な農業・食品産業、農村の活性化などについて解説された。
- ②エシカル消費と関連がある本学部における取組が紹介された。例えば産学連携企画や各種コンテストなどにおける食品ロス削減や地産地消促進への取組、卒業研究におけるフェアトレードへの取り組みなどである。その後に第二部の導入となる本年度の本学部イベントの紹介があった。

第二部 官学合同ワークショップ

日時：2023 年 10 月 4 日（水）14 時 40～16 時 05 分

場所：東海学園大学 名古屋キャンパス 341 教室

対象者：東海農政局職員（11 名）、健康栄養学部の学生（1 年生 14 名、2 年生 10 名、
4 年生 7 名 合計 31 名）と教員

内容

- 1) ポスターセッション：1 年生の学部イベント用ポスターを展示し、参加者が自由に閲覧し、各ポスターの責任者（1 年生）と質疑応答を行った。
- 2) エシカル消費小冊子のプレゼンテーション：2 年生の小冊子代表者（各ゼミ代表者）が第二部参加者全体に小冊子の内容を説明した。
- 3) エシカル消費すごろくの遊び方の説明：2 年生によるすごろくの説明を行なった。

- 4) 座談会/懇話会：東海農政局職員と学生、教員が合計 8 グループに分かれ、東学版エシカル消費すごろくの実演を通じてグループ内で意見交換を行った。
- 5) まとめ：各グループの代表学生、東海農政局地方参事官 小林康弘氏、本学 堀尾拓之教授がまとめの発表を行った。学生からは「エシカル消費を知り、学び、実践を始める良いきっかけとなった」という感想が聞かれた。小林氏より学生らに対し、国民の理解醸成の重要性に鑑み学生らによる自らの実践にとどまらない一般の方々への教育への要望が述べられた。堀尾教授からは本イベントを契機とした学生の意識と行動の変化と、学生による困難な問題への更なる取組への期待が語られた。

6. 実施状況

- ①オープンキャンパス 2023 年 8 月 6 日（日） 10 時－15 時 東海学園大学 名古屋キャンパス 432 教室 来場者 59 人（高校生 38 人、保護者 21 人）
- ②官学合同イベント 2023 年 10 月 4 日（水） 13 時 30 分－16 時 5 分 東海学園大学 名古屋キャンパス 第一部 311 教室 参加者 252 人（学生 241 人、東海農政局職員 11 人）、第二部 341 教室 参加者 42 人（学生 31 人、東海農政局職員 11 人）（東海学園大学 学部からの最新情報 <https://www.tokaigakuen-u.ac.jp/academics/news/detail.html?id=1243> 2024 年 1 月 22 日確認）
- ③名古屋市消費生活フェア なごやエシカルフェア☆2023 2023 年 11 月 18 日（土） 10 時 30 分－16 時 オアシス 21 銀河の広場 来場者約 8000 人（名古屋市消費生活センター情報ナビ <https://www.seikatsu.city.nagoya.jp/news/past/article/1418> 2024 年 1 月 22 日確認）

7. 総括

本年度の学部イベントは学部行事における東海農政局との官学合同イベントとして企画・運営した。このため、企画段階より賜った東海農政局諸氏の協力がイベント実施にかけがえのないものであったことをはじめに述べておく。

イベント実施の上で 2023 年 5 月に COVID-19 が 2 類感染症から 5 類感染症に変更されたため新型コロナ禍前とほぼ同様に対面やグループでの活動を行うことが可能であり、1 年生のコンピュータ必携化により学習・作業効率の上昇の中で準備を行なった。

オープンキャンパスの学部イベント展示会場への来場者は 59 人で、内訳は高校生とその保護者であった。未来を担う高校生への教育・啓発は様々なテーマにおいて重要であると思われ、複数のオープンキャンパスにおける参加者への展示が望ましいと思われた。

本学部イベントは学部行事における東海農政局との官学合同イベントと連動して企画・運営し、講義・講演にとどまらず行政職員の方々と本学部生との意見交換を行なった。学部行事の第二部におけるポスターセッションでの自由な閲覧と質疑応答、小冊子やすごろくを前にしての少人数でのグループワークを行ない、東海農政局の方々からは大変貴重な意見を賜ることができ、本学部学生と教職員にとって充実した時間であった。

本年度の全体テーマ「エシカル消費を考える」は、昨今の草の根レベルから行政レベルに至る

様々な活動の隆盛を考慮すると社会的要請を踏まえた時宜を得たものであり、学部行事では学長の臨席、学生の制作物については本学オープンキャンパスのみならず名古屋市消費生活フェア なごやエシカルフェア☆2023 で紹介する機会にも恵まれた。エシカル消費は他の多くの困難な課題と同様に「言うは易し、行うは難し」といった側面を多分に含んでいるが、学生のアンケート結果や感想文からは、事態改善へ向けての学生の意識と行動の変化が感じとられた。

以上の活動より、オープンキャンパス、学部行事、名古屋市消費生活フェアにおいても参加した高校生・保護者、学生、教職員、一般市民らを啓発してその意識と行動の望ましい方向への変容をもたらした可能性は大いにあり、本イベントで掲げた「地域社会におけるエシカル消費推進の一助となる」という目的は達せられたと考えた。

8. 謝辞

本イベントの企画段階からご協力いただき官学合同イベントにご参加いただいた東海農政局職員諸氏、特別講義にご登壇いただいたエシカル・ペネロープ代表取締役 原田さとみ氏に深謝いたします。また本イベントは一般社団法人 全国栄養士養成施設協会より「令和5年度社会貢献活動への助成」を受けました。厚く御礼申し上げます。

資料 1

企画 1 地産地消---地域に配慮したエシカル消費のために、地元の食べ物をもっと知ろう---

尾張・三河、二つの歴史が交差する愛知の郷土料理

食物繊維 たっぷり助六	ふわふわ がんもどき	シャキシャキ 煮酢和え	愛知県郷土料理 鬼まんじゅう
①キャベツ、大葉、きゅうりは愛知県産使用で地産地消に留意。 ②キャベツの芯や椎茸の軸の部分も利用した。	①愛知県特産物のキャベツをがんもどきにたっぷり使用した。 ②人参の皮、キャベツの芯なども利用した。	①愛知県伝統野菜の八事人参、方領大根などが利用できる。 ②野菜の皮も廃棄せずに料理に利用した。	①愛知県郷土料理として、子どもだけでなく各世代に食べられている。 ②さつま芋の皮もしっかりと洗って利用した。

愛知県の郷土料理 鬼まんじゅうの魅力再発見!!

発祥	由来	特徴	成分
主な伝承地区は、名古屋を中心に県内全域で作られている。	さつま芋の角がゴツゴツと、鬼のツノや金棒を想起させたことが由来。	もちもちとした重量のある食感で非常に腹持ちがよい。最近では、りんごの角切りを入れたり、軽い食感の鬼まんじゅうも販売されている。	水分、炭水化物、カリウム、ビタミンCが多く加熱にも安定しており、甘味が強い。

東海学園大学 健康栄養学部 出典:うちの郷土料理-農林水産省 日本食品大辞典

資料 1-1 徳永ゼミ ポスター

シラス

①産地：南知多の篠島や日間賀島、師崎
②特徴：定期休漁日の設定、資源量に応じて漁獲
マリン・エコラベル・ジャパンの認証
③栄養と効果：高タンパク質・低脂肪で豊富なカルシウム
→自律神経失調症や不眠症などの症状をやわらげる

キャベツ

①産地：田原市、豊橋市
②特徴：地産地消で環境にも優しい
③栄養と効果：キャベジン
→胃の粘膜を丈夫に
ビタミンC→美容効果、風邪予防

保美豚

①産地：渥美半島 吉田畜産
②特徴：抗生物質など不自然な薬剤を与えない
遺伝子組換え飼料不使用
③栄養と効果：
タンパク質→食欲抑制、代謝アップ
ビタミンB群→手足のしびれやむくみ、集中力維持
不飽和脂肪酸→皮膚の炎症抑制
必須アミノ酸→筋肉量の維持・向上、疲労軽減

東海学園大学 健康栄養学部

資料 1-2 西田ゼミ ポスター

三重県の郷土料理 エシカル みえ

こけら寿司

東紀州地域では人寄せ事やおめでたい時によく作られた、型に入れて押し固める「押し寿司」。名前の由来は「こけら返り」の返歌のように貝材を重ねて盛り付けたからといわれている。

あはだき

食品を無駄にすることなく美味しく食べようという知恵がみられる郷土料理。

うまいもんフェア

三重県

盆汁

盆に二先物を添えておもてなしするために作られ、普通の汁物よりも貝材が多く旬の夏野菜を使った郷土料理。

いのこもち

万歳除け、子孫繁栄などにより、平安・鎌倉時代から食べられている。

東海学園大学 健康栄養学部

資料 1-3 中出ゼミ ポスター

三重県の代表的な農水畜産物について

結論・提言

三重県の特産物をたくさん食べて良さをシェアしよう!

1 三重県の沿革

三重県→明治35年に愛媛県と統合後合併

2 代表的な農産物は

#私と伊勢茶。

◎エシカルポイント!
「マイボトルキャンペーン」
緑茶の消費が減少
茶生産の経営は非常に厳しい状況
マイボトルとティーバッグを活用して本格的な緑茶の味を簡単に楽しめる
「伊勢茶マイボトルキャンペーン」を展開
あなたも始めませんか。
伊勢茶生活

3 代表的な水産物は

伊勢えび

江戸時代にはすでに伊勢海老と呼ばれていた!伊勢海老という名特がつけられたのは伊勢湾で多く漁獲されたことが由来。
・伊勢えびの殻をふけかけに!えびを丸ごと使った!
殻まで食べて廃棄率をなくそう!

4 代表的な畜産物は

三重は肉!

市販が難しい!三重県産肉をシェア
松坂牛 伊賀牛
松坂市周辺地域で生産 伊賀市・名張市
不飽和脂肪酸が豊富 生産・消費
他にも豚肉鶏肉も有名!!
名物としてトンテキやコロッケも有名!

東海学園大学 健康栄養学部

資料 1-4 仁科ゼミ ポスター



- ・ 自分が知らない愛知県、岐阜県、三重県について知ることができました。
- ・ 積極的に郷土料理を食べようと思いました。
- ・ 水筒を持参していきます。
- ・ 食品ロスを防ぐ工夫を心掛けようと思いました。
- ・ これを機にエシカル消費を意識して行動しようと思います。

資料 2

企画 2 エシカル消費を知る---エシカル消費の浸透を目指して---



栄養科学演習 | 特別講義

「フェアトレードタウンでエシカル消費
世界に優しく、地域に楽しく、
未来に美しく」

講師：原田さとみ先生
エシカル・ペネロプ株式会社代表取締役

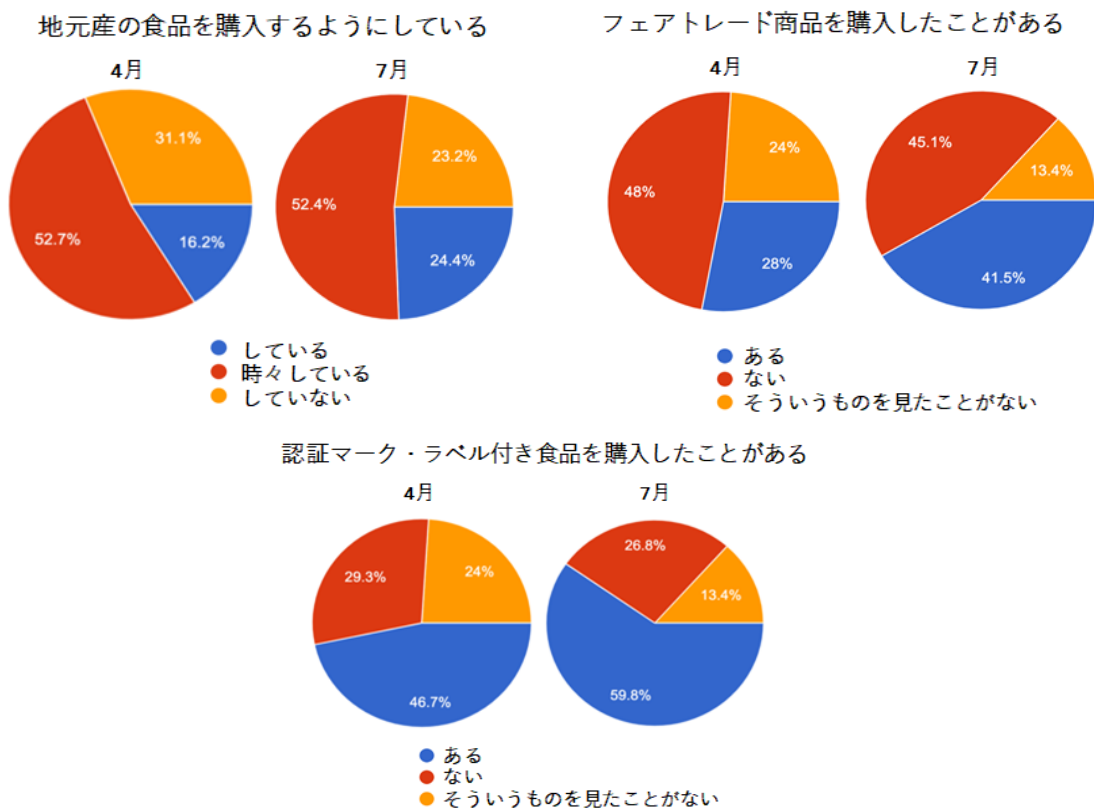
講義日時
令和5年4月17日(月)
5 限目
332教室

「倫理的消費(エシカル消費)」とは?
消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、
そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。
国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールのうち、
特にゴール12に関連する取組です。
今年の学部イベントは「エシカル消費!」 今回の講義はそのエシカル消費の
第一人者の原田さとみ先生です。エシカル消費を知らなかった貴方もこの講義で
明日からエシカル消費が出来ます。イベントでの作品作成の一助にしてください。



資料 2-1 2 年生特別講義の案内

資料 2-2 原田さとみ氏による特別講義



資料 2-3 2023 年度春学期における 2 年生の意識・行動の変化



資料 2-4 東学版エシカル消費すごろく 2023



はじめに

エシカル消費とは、人や社会、環境、地域などに配慮しながら行う消費行動です。消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そのような課題に取り組む事業者を応援しながら行う消費行動です。

これまでの経済を最優先にしてきた消費行動は、不当な労働条件、環境破壊、地域社会の変容など、多くの問題を生み出してきました。その反省にたち、エシカル消費は、自分だけでなく周りの人々、環境、地域社会がよりよくなるように考えられた消費行動です。エシカル消費は持続可能な社会にとって不可欠と考えられ、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）のうちの複数のゴールと関わっています。またエシカル消費は、東海学園大学の教育理念「共生（ともいき）」とも相通ずるものがあると思われます。

2023年度の本学健康栄養学部学部イベント・学部行事に際し、教員は、未来を託す学生たちにエシカル消費を学び、未来をより良いものにして欲しいと願いました。同イベントのテーマを「エシカル消費を考える」とした所以です。そして今回学んだことを確認し、更にはより多くの方々に知っていただくために、学生たちが中心となってポスター、すごろく、そしてすごろくを補完する本小冊子を作成しました。手に取っていただいた方々が「未来のために今日から自分にできること」について思いを馳せていただければ幸いです。

2023年9月

スタッフ一同

1

エシカル消費とは…もう少し詳しく

エシカル消費の理念

エシカルという言葉は直訳すると「倫理的な」「道德上の」という意味です。エシカル消費では、日々の消費においていろいろな配慮をし、倫理的な消費行動を通じて様々な地球上の課題を解決することを目指します。

エシカル消費の配慮の例

「人・社会」、「環境」、「地域」の3つに分けると理解しやすいので、本冊子でもこのように分けてご説明します。

【人・社会への配慮】

フェアトレード商品、寄付付き商品、被災地の商品、オーガニック商品の購入・使用など

【環境への配慮】

マイバッグやマイボトルの使用、エコ商品の購入、食品ロスの削減など

【地域への配慮】

地域生産地域消費（地産地消）の促進など

では実際にどうやってエシカルな商品を選べばよいの？
認証ラベル・マークをご説明します。

エシカル消費推進に負の側面はあるの？
今回はグリーンウォッシュをご説明します。

さあ、エシカル消費についてもっと見てみましょう！

参考文献

- 1) “講談社SDGs by C-station”. 講談社. <https://sdgs.kodansha.co.jp/>. (参照: 2023. 3. 30)
- 2) “エシカル×あいち”. 愛知県. <https://www.pref.aichi.jp/kenmin/ethical/>. (参照: 2023. 3. 30)

2

人・社会に配慮したエシカル消費（井成ゼミ）



オーガニック食品とは

農薬や化学肥料に頼らず、環境への負荷ができる限り少ない方法で生産される、有機農産物と有機畜産物、それらを原料にした有機加工食品のこと。そのような有機食品にはJASマークが付けられる。

※有機食品を表すJASマーク



日本農林規格協会

◆ 調味料

オーガニックシュガー、
醤油など…

どんな食品がある…？

◆ お菓子

有機栽培したそば粉を使った
バタービスケット、
無添加りんごゼリーなど…

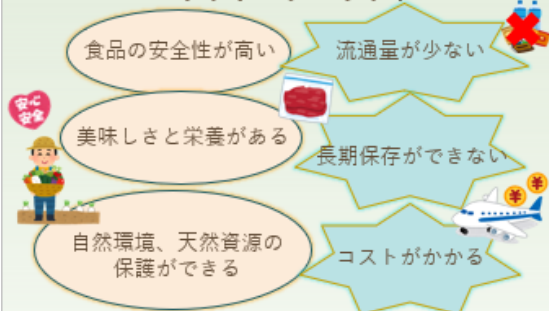
◆ 飲料

オーガニックアイスコーヒー、
オーガニックストレートジュース
オレンジなど…

出典：日本オーガニック＆ナチュラルフーズ協会

3

オーガニック食品を利用する メリット&デメリット



オーガニック食品について行っている取り組み

●イオン『トップバリュグリーンアイ』

- ①オーガニック食品の販売
例：オーガニック冷凍野菜
- ②オーガニック食品を使用したおすすめレシピの紹介
- ③ホームページにオーガニック食品生産者情報を掲載
- ④ホームページにオーガニックのための取り組みを掲載

例：化学合成農薬や化学肥料に頼らないようにするために
1.土作りとして野草堆肥、緑肥^{*1}を行っている。
2.害虫対策としてコンフューザー^{*2}、防虫ネットを使用している。

^{*1}：新鮮な緑色の植物そのものを土壌にすき込み使用する肥料のこと

^{*2}：性フェロモンの特異的作用によって対象害虫の交尾を連続的に阻害し、害虫の発生を抑制するもの

4

出典：トップバリュ

環境に配慮したエシカル消費（寺嶋ゼミ）

私たちの需要を満たすために商品の大量生産を行うと、世界中の資源や原材料も大量に消費され、また大量に廃棄される。

この大量生産・大量消費・大量廃棄が環境破壊を助長し、地球温暖化や生態系の破綻につながってしまう。

エシカル商品が普及すれば生産・消費・廃棄ともにムダがなくなり、環境破壊を抑制できる。

出典：<https://ethical-normal.com/blogs/blog/post3>

グリーン購入とは



持続可能な社会の構築

グリーン購入法とは？ 内容やメリット、対象物品をわかりやすく紹介！【SDGs ACTION!】※
日経新聞デジタル (asahi.com)

5

エコグッズが環境に与える影響

リデュース（発生抑制）ごみになるものを減らす。
年間1人当たり183本のペットボトルを消費している。
回収してリサイクルするとコストがかかる。また、リサイクルの過程で不純物が混ざり質が落ちる。

➡ ダウンサイクル

エコバックやマイボトルで注ぎされる「エシカル消費」 | コクヨのMANA-Six
(kokuyo-furniture.co.jp)

簡単にできる二酸化炭素削減

- ・ 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する
カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、着る物を工夫すると冷暖房機に頼らないで過ごせる。
年間約31kgのCO2の削減、年間で約2,000円の節約
- ・ 買い物袋を持ち歩く
トレーやラップは家に帰れば、すぐごみになり、買い物袋を持ち歩けばレジ袋を減らせる。
年間約58kgのCO2の削減
- ・ 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす
残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利。
年間約17kgのCO2の削減、年間で約5,000円の節約

6

地域に配慮したエシカル消費 (仁科ゼミ)

遠方で生産・製造された食材や商品がインターネットを通じて、いつでもどこでも好きなだけ購入できるネットワークが私たちの生活の中に浸透しています。「簡単」、「便利」に購入できることは魅力的ですが、「地域の振興」も買物では大事な視点の一つです。地元の食材を「選ぶ」ことや地元のお店で商品を「買う」ことは、地元を「応援する」ことにつながります。

～地元で配慮したエシカル消費の例～

- ・ 地元で作られた食材を買う地産地消
- ・ 地元のお店でお買い物をする
- ・ 伝統工芸品を購入
- ・ 被災地産品

※地産地消とは

「地域生産-地域消費」の略語で、地域でとれた農林水産物をできるだけ地域で消費しようという意味

<https://www.pref.aichi.jp/kenmin/ethical/about/>

地元を応援しよう!



7

地域に配慮したエシカルファッション

☆クイズの答え

人や環境に負荷をかけないオシャレの仕方



～エシカルファッションの10の基準～

1. 安価で使い捨て型の「ファストファッション」に反対する
2. 生産する労働者の賃金・権利・労働環境を守っている
3. 持続可能な生活を支える
4. 有毒農薬や化学物質の使用問題に取り組んでいる
5. 環境にやさしい素材を使用、または開発している
6. 水の使用を最小限にしている
7. リサイクル、エネルギーやゴミ問題への取り組みをしている
8. ファッションの持続可能性を開発・促進している
9. 取り組みを報告し、解決策を広めようとしている
10. 動物の権利を守っている



～エシカルファッションは“エシカルブランドで買うこと”だけではない!!～

- ・ “安いものたくさん”ではなく“いいものだけを少なく”の考えに変える
- ・ 手持ちの服を長く着る
- ・ リサイクルする
- ・ リメイクする
- ・ レンタルする
- ・ 日本製を買う
- ・ オーガニック製品を買う

・ 地域の産業保護のため
・ 輸送距離を少なくし、
CO2の排出を抑える。

エシカル消費の考え方のもと、できることはたくさんある。

8

「グリーンウォッシュ」

(堀尾ゼミ)

グリーンウォッシュとは

環境に配慮した、エコをイメージさせる「グリーン」とごまかしや上辺だけという意味の「ホワイトウォッシュ」を組み合わせたもの。環境に配慮しているように見せかけて、実際そうではない企業を批判するときなどに使う言葉。マイナスの言葉。

グリーンウォッシュの事例

- ・ スタバ「ストロー要らない蓋」とリユースカップ
持続可能な取り組みでストローの要らない蓋リリース
→従来の蓋とストロー以上のプラを使用

→リユースカップを100回使っても使い捨てのプラスチックカップに比べて二酸化炭素の排出量が多く、環境への負荷が大きい場合がある。

問題点

化粧品製造販売業の事例では、人の肌にやさしい低刺激の化粧品を製造することをモットーにしている。事業活動に際してSDG₈を推進しており化粧品を作るときに必要な原料の購入代金を使い、海外地域における小学校校舎建設を実現した。またフェアトレード認証の製品を利用するなど、社会全体に向けた貢献活動を積極的に取り入れている。



9

「グリーンウォッシュの七つの大罪」

- ✓ **隠れたトレードオフの罪**
企業がアピールしたい一点のみに言及し、他で環境破壊が起こっていることを言及しない
- ✓ **根拠を示さない罪**
何の根拠もなく「認証済み」「サステナブル」などと宣伝する
- ✓ **曖昧さの罪**
どの部分がどのように変わったのか具体的に明らかにしていない
- ✓ **偽りのラベル崇拝の罪**
第三者が存在しないのに、そこからお墨付きもらって説得力を持たせる
- ✓ **無関係の罪**
事実かもしれないが、商品やサービスによる環境インパクトとは無関係の情報を「訴求ポイント」としていじめる
- ✓ **より大きな「悪」と比べる罪**
良いことをしているわけではないのに、環境負荷を出す「より悪い」ものと比較して、まだましだと宣伝すること
- ✓ **フィビッシング (不正確) の罪**
単純に、間違った情報に基づいて商品・サービスをサステナブルだと主張すること

対策方法

1. クリティカルシンキングを身につける
2. 様々な媒体の情報をインターネットで調べて、自分で内容を精査する
3. 情報が第三者に評価されている
4. 透明性がある
5. 企業の内容が一貫している



10

誰でもわかる！ (宮澤ゼミ)

認証ラベル・マークとは？

？
エシカル消費に貢献したい！
でも
どの商品を買えばいいのかな…

そんなあなたに
認証ラベル・マークで簡単発見！
※商品のパッケージに記載されています!!

具体的に貢献できること
1. 環境
2. 人や社会
3. 地域

生産者の人権保護など
への認証マーク

CERTIFIED SUSTAINABLE PALM OIL
RSPO 熱帯林などの保護
の認証マーク

FAIRTRADE 国際フェアトレード認証ラベル

11

すごろくのクイズの答え

Q1
(正解) ④
間伐材マークとは、間伐材を用いた製品に表示することができるマークのことで、テーブル、椅子、カウンター、パソコン台等があります。

Q2
(正解) ①
本県では、15品目が伝統マークに指定されており、指定品目数は全国第5位です。
また伊賀焼は三重県伊賀市で、美濃焼は岐阜県の東濃地方で生産されている伝統工芸品です。

間伐材マーク

伝統マーク

12

発行
東海学園大学 健康栄養学部
468 - 8514 名古屋市天白区中平二丁目901番地
代表：052 - 801 - 1201

資料 2-5 エシカル消費小冊子 (続)

資料 3

企画 3 官学合同イベント 東海学園大学健康栄養学部 学部行事 東海農政局-東海学園大学包括連携協定締結 1 周年記念 東海農政局-東海学園大学健康栄養学部 合同イベント



資料 3-1. 第一部 東海農政局 井上俊樹氏による講演 資料 3-2. 第一部 本学教員による講演



資料 3-3. 第二部開会



資料 3-4. ポスターセッション



資料 3-5. 学生による小冊子とすごろくの説明



資料 3-6. 東海農政局職員と本学部学生・教員によるグループワーク すごろく・座談会



資料 3-7. まとめの発表

「エシカル消費」理解深める

東海学園大で学生と農政局職員



エシカル消費を学べる「すくく」で遊ぶ学生と東海農政局職員。天白区の東海学園大名古屋キャンパスで

環境や社会に配慮した消費行動「エシカル消費」を東海学園大の学生と東海農政局職員が学ぶ合同ワークショップが4日、天白区の同名古屋キャンパスであった。具体的な行動を学べるオリシナルの「すくく」で遊び、理解を深めた。

東海学園大と農政局との包括連携協定締結1周年を記念した企画で、健康栄養学部1、2年生を中心に250人が参加。農政局担当者らによる講演を聞いたほか、学生が東海3県の郷土料理と特産品を、地産地消や食品ロス削減の観点でま

とめたポスターの展示と意見交換、エシカル消費の意義や実践を紹介する学生制作の冊子の発表があった。

「すくく」は同学部の2年生が制作。各ますに「リサイクルショップで服を買った」「好き嫌いせず野菜を食べた」などのエシカル消費につながる行動やクイズが書かれている。学生と農政局職員が一緒に遊び、日常生活でどのように実践するかを話し合っていた。

2年増井莉子さん(20)は「学ぶうちにエシカル消費を身近に感じられるようになった。小さなことでも自分ができることから取り組みたい」と話した。

(芝野享平)

資料 3-8. 官学合同イベントを紹介する中日新聞朝刊(2023年10月6日)の記事
(許諾番号 20240221-30491)

資料 4

第 2 回オープンキャンパス



資料 4-1 すごろくの実演



資料 4-2 すごろく、説明書、小冊子



資料 4-3 解説ポスター



資料 4-4 エシカル消費動画上映

資料5

令和5年度名古屋市消費生活フェア なごやエシカルフェア☆2023



11月18日（土）、オアシス21 銀河の広場で、令和5年度 名古屋市消費生活フェア「なごやエシカルフェア☆2023」が開催されました。知っておきたい身近な知識から、地球の未来を考える SDGs まで、ステージやブースで消費生活について、楽しく学べるイベントでした。

東海学園大学健康栄養学部は地域保健活動演習を履修している3年生が、名古屋市健康福祉局健康部健康増進課食育担当の方々と野菜摂取を増やしていただくための健康レシピの紹介や野菜をとっていただくためのアンケート、エシカル消費ポスターやすごろくを紹介しました。幅広い年代の方々との交流で多くのことを学び、手ごたえを感じていた学生たちでした。



エシカル消費のポスターや資料、すごろくの掲示



食育ブースの様子①

資料 5-1 「学部からの最新情報」記事より（東海学園大学 <https://www.tokaigakuen-u.ac.jp/academics/news/detail.html?id=1277&m=prev> 2024年1月22日確認）

健康栄養学部過去のイベント一覧表

年度	テーマ	担当教員	
2010 年度	COP10	寺嶋正治	
2011 年度	考えましょう 災害時の食事	長谷川順子	
2012 年度	スポーツ食を考える	西田淑男	松島圭子
2013 年度	私の食生活・健康は大丈夫？	白石則之	中出美代
2014 年度	見直そう！和食の文化	山本由喜子	兼平奈奈
2015 年度	2020 東京オリンピック 食の“おもてなし”を考えよう	長幡友実 高柳尚貴	飯田 大
2016 年度	もっと食べよう 毎日プラス1皿の野菜料理	加藤忠 高柳尚貴	端井しげみ
2017 年度	お菓子でめぐる日本と世界	東山幸恵	糸 晃智
2018 年度	お米の魅力、お米のパワー、再発見！ ～世界の主食を知ろう～	平野義晃	徳永佐枝子
2019 年度	食を通して東京オリンピック・パラリンピックに参加 するアスリートを応援しよう	堀尾拓之	神戸絹代
2020 年度	SDGs 達成に向けて食を通じてできること ～食品ロスやフードマイレージを減らそう～	古橋啓子	芳野憲司
2021 年度	感染症について学ぼう	村田千代栄	小池亜紀子
2022 年度	目指せ！野菜の摂取 350g！ ～野菜摂取量増加に向けたアプローチ～	宮澤洋子	松吉ひろ子
2023 年度	エシカル消費を考える	新宮多加志	堀尾拓之

2024 年 2 月

発行 東海学園大学 健康栄養学部 健康栄養学科

監修 学部イベント担当 新宮多加志 堀尾拓之

学部行事担当 松吉ひろ子

